

ASEV JAPAN

1989年度大会報告

大会会長 後藤 昭二

ASEV JAPANの1989年度大会は、去る11月10日（金）に、シティプラザ紫玉苑（甲府市飯田1-2-4）において、約120名の参加者を得て盛大に開催された。本大会への参加者は年毎に着実に増加しており、本会への期待や関心が続々高まっているものと思われる。特に非会員の参加者が年々増加していることは、本大会の講演内容が、ブドウやワイン、あるいはそれに関連する種々の分野の研究者や技術者にとって、学問的にも技術的にも高い評価を得ているあらわれと思われる。本年は9題の一般講演と2題のセミナー（要旨または、研究報文として本誌に掲載）が行われたが、いずれもオリジナリティーの高い、また学問的にも高い水準の研究内容であり、活発な質疑応答がなされた。

特別講演は、「Saccharomyces 酵母での異種遺伝子の導入発現」というタイトルで、現在の遺伝子工学における最先端の研究を非常に分かりやすく丁寧に解説していただき、きわめて有意義であった（要旨を本誌に掲載）。

また、当日は理事会と総会が開催され、別掲の総会資料による議事について審議され、すべて承認された。引き続き行われた懇親会では、約80名の参加者を得て盛大に行われ、晩秋の夜の一時を、ワインを片手に大いに語り合い、親睦の輪がよりいっそう深められ、楽しい会であった。なお、当日のワインは、本会の産業会友である以下の各会社より御寄付いただきましたことを付記するとともに、この誌面をかりて厚くお礼申し上げます。

アサヒビールワイナリー、アルプス、合同酒精甲府ワイナリー、サッポロワイン勝沼ワイナリー、サントネージュワイン、サントリー山梨ワイナリー、三楽メルシャン勝沼ワイナリー、白百合醸造、中央葡萄酒、十勝ワイン、富士発酵工業、まるき葡萄酒、マンズワイン、雪印ペルフォーレ（敬称略、50音順）

（山梨大学発酵化学研究施設）



矢野 圭司先生



廣保 正先生